

朝のミーティング時間短縮

事業所概要

- ・事業所名：特別養護老人ホーム百々千園
- ・サービス種別：介護老人福祉施設（定員：50人）・短期入所生活介護（定員：20名）
- ・介護職員数：29人（【常勤19名・非常勤10名】）
- ・プロジェクトメンバーの構成：介護職員（3名）、生活相談員、介護支援専門員、園長

取組に至った背景

- 70名の施設利用者を3フロアで分けし、それぞれに介護職員を配置。
- 各フロアの職員の代表（介護職員6名、看護職員、生活相談員、介護支援専門員各1名の計9名程度）が集まり、朝のミーティングを行っていたため、他グループの報告まで聞くことになっており、その間、待機時間が生じていた。
- ミーティングに参加した代表の職員は、ミーティングの内容や聞き取った前日の業務内容等を別の職員に再度伝達しなければならないため、2度手間になっていた。
- 朝の繁忙時間帯に職員がミーティングルーム1か所に集まるため、その間は各フロアが手薄となり、ナースコール等に素早く対応できない等の課題があった。

課題解決のプロセス

- Step1
生産性向上委員会で個別ミーティングの実施を決定し、各フロアへ通達。
- Step2
実施日を決定。介護職員が3つあるフロアごとで、それぞれ個別にミーティングを実施。
- Step3
1週間程度試行。
- Step4
聞き取り調査を行ない、特に問題がなかったため、継続。

※取組時のポイント・工夫※

- (1)全体に申し送る事項については事前に確認する
看護職員からの伝達等は担当職員がミーティング開始前にあらかじめ聞き取っておく。
- (2)他部署への報告等
その都度、報告することとし、繁忙時間帯を避ける。



取組効果

【質的な効果】

- (1)待機時間や再伝達の時間短縮につながり、その分、余裕をもって別の業務を行なうことができた。
- (2)ナースコール等にも素早く対応できるようになった。

【量的な効果】

- 今までは、一連の業務に約15分かかっていたが、5分に短縮できた。
→ **職員8名の参加で、1回約80分時間短縮を達成(年間486時間短縮)**

同様の取組を検討している事業所へのアドバイス

- 朝の繁忙時間帯におけるミーティング時間が短縮し、また、各フロアでミーティングを行うことで、以下のような効果がある。
 - (1)ミーティングに集中できる。
 - (2) **同時間帯における見守り、ナースコール対応、他の業務に時間を回す**ことができ、職員が余裕をもって業務することができる。